

大正五年八月

伊國ニ於テ外國船ノ購  
入及造船獎勵部法ニ  
件

五

五

外務省

電信課長 上野

大正五年九月廿九日

羅馬 查事八月三日 前七三〇

大臣 次官 十位

石井外務大臣

伊集院大使

政務

通商

人事

會計

文書

參政官

參政官 大隈

第10項 類別

大正五年九月廿九日記録第三部接受

今おまゝに

第一二八号

伊國政府、内國貨物船ヲ増加セシメ、外國

船ヲ購入及建造シ、關稅ニ獎勵法ヲ定メ、八月三

日、公布セリ、其ノ要領

一、外國船ヲ購入スル貨物船ニ付テハ、三年間又

内地ニテ建造スルモノニ付テハ、五年間、其ノ收益

ニ對シテ、即應稅及戰時附加稅ヲ免除ス、内地

ニテ建造スル貨物船ニ對シテハ、材料ノ輸入稅

ヲ免除シ、毎噸ニ付八十五リ、建造補助金

ヲ支附ス、之レニ機關等、製造ニ對スル成規、

補助金ヲ加フルトキ、平均一噸ニ付百五リレ

トナル

三、前記購入及建造船ニ對シテハ、一年間一切ノ

徵稅ヲ免除シ、又強制輸送ヲ命ゼス

四、貨物船建造ニ要スル材料ヲ外國ニ輸入

スルモノ、徵稅船ヲ使用スルモノトシテ得

五、以上特典享有ノ條件トシテ船舶ノ所有

権力全部伊用氏又ハ伊用會社ニ屬スルコトヲ  
要シ五年間ハ外國人ニ之レヲ賣却スルコトヲ  
得ス

(露都全田八月三十日辰(0.5)  
第七一三号)

大正五年九月五日 記録第二部接受

ハロ平

羅馬路 查幸八月 三日 前七三〇

外務大臣

伊集院大使

第一三八號

伊國政府、内國貨物船ヲ增加セシメ、外國  
船、購入及建造ニ關シテ獎勵法ヲ定メ、八月三  
日、公布セリ、其ノ要領

一、外國ヨリ購入スル貨物船ニ付テハ、三年間、又  
内地ニテ建造スルモノニ付テハ、五年間、其ノ收益

ニ對シテ、動産税及戰時附加税ヲ免除ス、内地  
ニ

大正五年九月五日 記録第二部接受

ニテ建造スル貨物船ニ對シテハ、材料ノ輸入税  
ヲ免除シ、毎噸ニ付ハ、十五リル、造船補助金  
ヲ支附ス、(之レニ機關等、製造ニ對スル成規、  
補助金ヲ加フルトキ、平均一噸ニ付百五リル  
トナル)

三、前記購入及建造船ニ對シテハ、一年間、一切ノ  
徵稅ヲ免除シ、又強制輸送ヲ命ゼス

四、貨物船建造ニ要スル材料ヲ外國ヨリ輸入  
スルタメ、徵稅船ヲ使用スルニ得

五、以上特典、享有ノ條件トシテ、船舶ノ所有

権方全伊周氏又ハ伊周會社ニ屬スルコトヲ  
要シ五年間ハ外國人ニ之ヲ賣却スルコトヲ  
得ス

(露邦全圖八月二十六日辰の五)  
第セ一ニ号

九月

皇官報掲載

羅馬倫 在華八月

大正五年九月一日

報送第一〇七號

官報掲載  
方取扱済

官報掲載

官報告在

第14門第  
第13類第  
第10項第

九月  
官報掲載

石井外務大臣

伊島院大使

第一三八號

伊國政府、内國貨物船ヲ增加セリシノ外國  
 船ヲ購入及運送ニ關シテ獎勵法ヲ定メ八月三  
 十有公布セリ其ノ要領左ノ如シ

一、外國ヨリ購入スル貨物船ニ付テハ三年間又  
 内地ニ運送スルモノニ付テハ五年間其ノ收益  
 ニ對シテ動産税及戰時附加税ヲ免除スル

大正五年九月二日 記録第二部接受

二、内地

一、運送スル貨物船ニ對シテハ材料ノ購入税  
 ヲ免除シ毎噸ニ付八十五リシ、造船補助金  
 ヲ支附ス（之レハ機關等ノ製造ニ對スル成規ノ  
 補助金ニ加フルトキハ平均一噸ニ付百五リレ  
 トナル）

二、前記購入及運送船ニ對シテハ一年間一切ノ  
 徵收ヲ免除シ又陸制輸送ノ命トス

三、貨物船運送ニ要スル材料ヲ外國ヨリ輸入  
 スルモノノ徵收船ヲ使用スルコトヲ得

四、以上特典享有ノ條件トシテ船舶ノ所有

権力全部伊国氏又伊国會社に属スルコトヲ  
要シ五年間ハ外國人ニ之レヲ賣却スハコトヲ  
得ス

101314

27

第1314号  
急

文書課長

大正五年八月卅日 接受

27

簿書校正

大正五年八月三十日起 森

別紙

送第三五八號

大正五年八月卅日 發送済 主任

主管 通商局長

通信者

通商局長

若宮管船局長宛

件五ヶ外五船購入

及造船機師法

大正五年九月一日 郵船第二部接受

外務省

本件、関し今般在件洋集院大使

より成字一過電報存一之日右取

一及傳送附之也

要添附

在傳大使東京電一三二八号、字  
外務省、作



附屬書類添附

大正五年十月十八日接受

通商二課

九三

十月廿六日  
公第廿四号  
大正五年九月十日

官報掲載  
方取扱済

官報登在

送付者へ

官報掲載

通商公報

十月廿六日  
大正五年九月十日

<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>	<p>大正五年九月十日 在印 伊本政官 伊本政官</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

監印合第103号

一九百十六年八月十日

一九百十六年八月十日

第1条

外ヨリ購入シ本令公布日ヨリ向テ二年以内ニ由  
船舶ニ爲シ一ト化貨物船使用ヨリ生スル利益  
對シテハ其ノ當額ニ供スル最初ノ三年尙ハ勸  
産稅及戰時非常附加稅ヲ免除ス

第2条

一九百十五年五月二十日以前建造ノ申請ヲ爲シ  
内地造船所ニ於テ建造スル貨物船シテ一九  
百十五年十二月三十一日迄ニ内各商船トシテ營利  
ニ使ハレシモノニ對シテハ五年尙前條ノ租稅及  
附加稅ヲ免除ス

第3条

海運鐵道大臣ハ大臣ト協議シ上列  
ノ定メル規程ニ準テ且同大臣ノ同意ヲ得省  
令ヲ以テ前二条ノ定ムル特典享得資格ノ有  
無ヲ決定ス

第4条

本令公布日以後發現戰爭ノ繼續中ニ由造船所  
ニ於テ建造スル貨物船ニ對シテハ其ノ建造  
ニ必要ナル材料例ニ船体動力機械汽鐘其ノ  
他附屬器械ニシテ外ヨリ輸入ヲ要スルモノニ付テハ  
凡テ免稅通關セシム

前記船舶ニ對シテハ一九百十五年七月十三日法律第

七四二号第四号ニ準テ給嶼敷一毎七付一十  
五利ノ造船補助金ヲ交付ス 同法律第七号一  
号ニ給嶼敷一毎七付一三十五利ノ擧上ノ  
補助金ノ之ヲ廢止ス  
機関汽鐘附屬機械ノ製造ニ對スルニ如法  
律第七号一號ニ定ムル補助金ノ之ヲ變更セス

第五号  
第四号ノ貨物船ノ建造ニ申請ノ日ヨリ二年以内  
ニ航海ニ從事スルヲ要ス  
右期限ヲ超過スル中ノ造船業者ハ千九百十一年  
七月十三日法律第七四二号第四号一號ニ造船補助  
金ノ之ヲ廢止ス

前條第一號ニ定ムル船舶ニ對シテ千九百十一年一月  
二十三日勅令第七一号及千九百十一年三月十二日勅令  
第七五五号ノ定ムル船舶證書及假子船證書  
交付ノ日ヨリ起算シ向テ一年以内行政上軍事上  
一切ノ徵收又ハ特別輸送ヲ免除ス

第七号  
運輸大臣ハ中央交通調査委員會ニ諮問シ  
前條第一號ニ定ムル船舶ノ船体及機械ノ製造ニ  
要スル材料ヲ徵收船外ヨリ伊等ノ輸  
送方ニ與スル案件ヲ定ムルコトヲ得

第八号  
本令ノ定ムル船舶ニシテ本令ノ特典ヲ享受スル  
ルニ其ノ船舶ノ所有權ハ全部伊等市民又







文書課長

大正五年十月廿四日接受

文書課長

別紙

大正五年十月十九日起算

同

五年十月廿五日

附

送第 山三 八 號

大正五年十月廿五日

主任

主管

通商司

閣 了

印

官報

通商公報

大正五年十月

第 第 第  
項 項 項  
第 第 第  
第 第 第  
第 第 第

日記簿第一二部接受

外務省

通告

若爾蒙船隻

伊玉三松之船隻購入及造船

將助情及譯送付件

伊玉政府の同目下息眉、急務なる形勢、不足補の目的、以て外貨物形購入、容易に及し内地に於ては造船等、大所を以て、中東、南東、北東、西東、各地方、本年八月十六日、該項助情、監査、情、事、中、有、事、八月十五日付、通達、第、三、五、八、号、以て、申、道、並、知、令、般、口、大、使、に、右、情、形、を、通、達、文、及、譯、上、別、紙、等、之、面、に、送、付、件、等、

之付るの密子及之送付の間許重収相成す也  
市在及の秘標者未だ未だ也  
以餘申也

別紙 主作伴其院大使未  
大正五年九月十日付分八ノ身ノ附原信  
取取ノ添付ノ事

外務省

3-2004

0173

官報掲載  
方取扱済

三九

4988

附

大正六年二月廿一日接受

通第二課 在伊國日本大使館

公第一 號

大正五年十二月廿六日

存伊

特命全權大使伊集院彦吉

外務大臣法皇陛下太子殿下御一酌殿

伊西に於ける海事信用補助令

大正六年三月廿一日  
報送第三三三七號

官報掲載  
方取扱済  
電信者

管轄

官報掲載  
方取扱済

一一二

十七

伊西に於ける海事信用補助令  
 其大要の第一伊西の海運事業発展の目的の以り商船  
 等帆船購入及建造に對し補助の与ふる事及び其  
 標準に本年九月十日付の公令第一号ニテ指示せら  
 本年八月十日付監査令第一号ニテ指示せら  
 規定せるの規則ニテ示すトス  
 第二、該補助の本年一月三十日付の公令第七号の以り  
 指示せる工業發展金補助組合より之の附与せる  
 トス  
 第三、該補助の目的の如き船舶又は材料價格に  
 五割の超過せる物に該補助の組合に補助の交  
 るトス  
 第四、該補助の形式ニテ交付せる其の形式  
 第五、該補助の異ナルシテ該補助の令に於て本監査令  
 一特別規定の條クモトス

中四兌換券發行銀行の換手紙割金了すへる  
 割金の特例給米割割料の特典うへる  
 右監事令の千九百二十一年八月一日の付監事令中  
 三十一号の宛生米せんト  
 監事令全文附符ノ上及送付の各通信者ノ付  
 圓付方紙設計の類の左の各中紙の類

引



千九百十五年十一月五日 監國令

才千六百六十一号 (今年十一月十日公布)

第一条 千九百十五年十一月十日付勅令才一三七五号

才二条 並に千九百十五年十一月十日付勅令才一三七五号

七〇〇号才五号より以上工業資材補助組合に

關し規定せしむる期限は千九百十八年十一月三日

一日より千九百二十年十一月十日迄延長せらる

千九百十五年十一月二十三日付勅令才七〇〇号

才五号才二項より認められたる低炭素鋼引

率に適用の中東委員の持たせしむる才一流の

企業者より提出せしむる証書に及ぶべきを得

第二条 本令より組合の工業資材補助の目的に

より千九百十五年八月十日付監國令才一〇三

号の規定を準則として条件に範圍内を尚

帆船に關しては後日規定せしむべき標準に基き

補助の許せらるる権限を有す

第三条 高松地方の目的より許せらるる組合員補

助の専ら高松才七五号才十二月より規

定せらるる本令の目的の特權を以て保証せしむ

右の特權の船舶並に建造に必要なる材料に上

の及ぶモノトス

誤謬權の契約より生ずる各種特權は優先し才

三取得者に対しては船舶並に材料、座又ス

海難火災賠償の合に於ての特權施行の保障

金額に對して行はるるモノトス

第四条 補助の特權の目的を以て船舶又材料價

格ノ百分ノ五ナラズ得ル  
 補助ノ許ナラズ組合ニ於テモ其ノ東手形ヲ以テテ  
 ントス該手形ニ普座手形ト異ナラズ必要ナ  
 切合ニ於テハ準備又ハ補充ニ當リテ其ノ証書若クハ  
 契約書ヲ附屬セシムルヲ得  
 該手形中ニ千九百十六年八月十日付監事令  
 才一〇三二号ノ並ニ本令ヲ引用スルニ由  
 管海区域船名及噸數ノ記載ヲ要ス  
 特權係船更替ノ場合ニテモ得ル外手形  
 期限ハ該手形ノ期日ヨリ四ヶ月ヲ起スルヲ得ル  
 第五條 特權係船及ハ保險ノ省ノ組合ノ請求ハ  
 時々手形証書或ハ準備又ハ補充ニ當リテ其  
 契約書若クハ高法才ニ當リテ其ノ法才一  
 才三章才ニ當リ及今法才ノ規定ニ依リテ管  
 海官廳ヨリ其ノ籍簿及ハ特權係船ノ登録簿  
 注記セラル  
 該手形及ハ注記ノ組合ノ承諾及ハ其ノ出  
 出付ノ決定人ノ非ラズレバ特權セムルヲ得ル  
 第六條 組合ノ債權ノ支拂ヲ得ルカ又ハ特權ノ施行  
 セラズレバ其ノ利益ニ反シテ減額又ハ喪失ノ虞  
 生ズレバ但シ高法才九百十九年才ニ号ノ規定  
 ニ基キテ中斷セラズレバ其ノ効力ハ該手形ノ  
 第七條 千九百十五年五月二十日付令才七〇号  
 才六條所定ノ範圍内ニテ且フ同才七條規定  
 ノ條件ニ依リテ兌換券若クハ銀リノ組合ノ手  
 形証書若クハ割引券ヲ得ル但シ其ノ金額ハ





第4門第  
第3類  
第10項第27號

官報掲載  
通商局集

要再回

文書課長

大正六年三月七日 接受

浄書 校正 原 添

大正六年三月一日起草

別紙

送第

一之號

主任

主管 通商局長

中村通商局長

通信省 若宮公使船局長宛

伊國ニ於テ海運業信用

補助令ニ関スル件

伊國政府同國海運業發展ノタメ

外務省

既ニ各般ノ施設ヲ講シテ海運業ノ回更ニ一九一

六年十月五日付通商令第一六六二号(其)

十三号发布(別紙甲子ノ註文)

credit)ニ関シ規定スル所存其大要ハ

加伊國海運業發展ノ目的ヲ以テ各般

ノ并ニ帆船購入及建造ニ對シ補助ヲ与

スル事其ノ標準(別紙乙子ノ註文)ニ

依リテ其ノ標準(別紙乙子ノ註文)ニ

英一千九百一十四年四月廿三日付通商手続規則第三八号(附)

有百付同國監國令第一〇三二号并

後日更ニ規定セラルルヤ規則ニ依ルモトシ

カニ該補助ニ同國工業投資金補助

但言ヨリ之ヲ附テスルヤトシ(別紙附録書

類ニ号参照)カニ該補助款ニ自

的物ニ船舶ス材料價格ノ五割ヲ却返

スルヲ得<sup>得</sup>該補助組合ト補助ラ去タルモノトシ

約束手形形或ハヨリ交附セラレ<sup>讀</sup>手形

外務省

普通手形ト異リ諸種、其ニ此ニ本監國

令ノ特別規定ニ<sup>傳</sup>地モノトシカ四〇兌換

券發行銀行ノ後手形割引ヲナスベク

該割引ニ特別條件ヲ割<sup>引</sup>料ノ特典ハ

与ヘシ而シテ左監國令第一九一六年ノ付

目付監國令第一〇三二号ヲ完セラル

形<sup>引</sup>據<sup>引</sup>以<sup>引</sup>身<sup>引</sup>被<sup>引</sup>在<sup>引</sup>伊<sup>引</sup>在<sup>引</sup>利<sup>引</sup>伊<sup>引</sup>集<sup>引</sup>院<sup>引</sup>本<sup>引</sup>使<sup>引</sup>

判<sup>引</sup>別<sup>引</sup>決<sup>引</sup>算<sup>引</sup>(中<sup>引</sup>身<sup>引</sup>)<sup>引</sup>通<sup>引</sup>商<sup>引</sup>手<sup>引</sup>続<sup>引</sup>規<sup>引</sup>則<sup>引</sup>全<sup>引</sup>部<sup>引</sup>

及  
部金文送件茲書中在錄一名年本  
及  
江轉送素系以查收其年本中  
建書也

別紙 伊集院大使來信者年十月三十

日付公力一呈附函書勅旨(甲)号

及林大使來信者年十月三十日付

公力七号(乙)号(乙)号(乙)号

外務省

